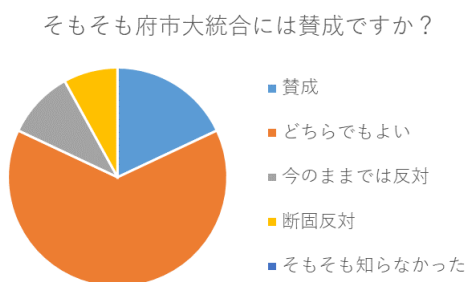


大学統合に対する当自治会の取り組み

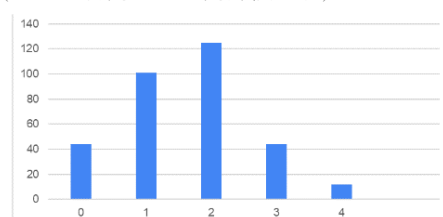
昨年度の大学統合アンケート

当自治会では、昨年度の2020/9/16～9/23に「大学統合に関するアンケート」を行いました。その結果、「府市大統合には賛成ですか」という説問に対し「どちらでもよい」という回答が64%と多数を占めました。そのため、当自治会は大学統合に関して特定の立場をとらないこととしました。一方、大学統合への理解度については、0～4の5段階評価のうち3と4、つまりよく理解しているという意見は少なく、学生への周知不足が目立ちました。

このアンケートをもとに「大阪府立大学・大阪市立大学統合に関する要望書」を作成し、2020/10/14に大学に提出しました。



府市大統合に対する理解度を評価してください。
(グラフ右側の4が高評価です)



統合後の学生団体

府大中百舌鳥・りんくうキャンパス、羽曳野キャンパス、市大の学生団体の構造は大きく異なります。例えば、大阪府立大学中百舌鳥・りんくうキャンパスでは学生自治会が「学生とともによりよい学生生活を実現する」ための活動を行っているのと同時に、当自治会・友好祭実行委員会・白鷺祭実行委員会・生協学生委員会・白鷺音響企画共同体 S.T.A.F.-1・体育会・文化部連合・外国人留学生総会 (ISA) からなる学生団体連絡会議を主催し、学生団体を取りまとめています。一方、大阪市立大学には学生自治会の役割を果たす団体はなく、応援団・体育会・文化系サークル連合・音楽系サークル協議会からなる四者連絡協議会 (四者協) が学生団体を取りまとめています。

また、学生団体や学祭の収入源、構成員の確保方法なども異なります。

そのため、両大学の職員および各学生団体の代表者により「カウンターパートミーティング」を開催し、統合後の学生団体のあり方を協議しています。